

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2026 年 5 月 18 日作成 第 1.0 版

研究課題名	ウイルス感染症合併悪性腫瘍患者を対象とした予後を比較検討する 観察研究
研究の対象	2011 年 1 月から 2025 年 12 月の間に、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)感染症、 HBV(B 型肝炎ウイルス)感染症、HCV(C 型肝炎ウイルス)感染症のいずれか診断さ れ、同期間内に抗がん剤の投与歴があり横浜市立大学附属病院を受診している患者さ んを対象とします。
研究の目的	本研究は、HIV、B 型肝炎、C 型肝炎といったウイルス感染症をお持ちの患者さんが がんを発症した場合に、その後の経過や生存率がどのように異なるかを調べることを 目的としています。これらの感染症は近年の治療により長期間安定して生活できるよ うになっていますが、免疫の状態や肝臓の機能などの違いにより、がんの治療成績や 予後に差がある可能性があります。本研究では診療で得られた情報を用いて、これら の影響を明らかにし、将来的により適切な診療やフォローアップにつなげることを目 指します。
研究の方法	診療録から情報を収集して、患者さんの予後について検討します。 いずれも通常の治療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になるこ とはありません。
研究期間	西暦 2026 年 6 月 8 日（研究機関の長の許可日）～ 西暦 2027 年 12 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2026 年 6 月 8 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報 の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症 ・悪性腫瘍の種類、診断日、抗がん剤の内容等 ・生存状況、死因等 ・血液検査の結果：白血球数、好中球数、リンパ球数、血清アルブミン等 ・ウイルス疾患診断時期、治療開始時期、その治療薬 ・血液中のウイルスの量 ・肝硬変の有無、肝がんの既往歴等
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工した 情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機 関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。 廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄しま す。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 薬剤部 畠山成寛
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究は資金を必要としない研究として実施されます。なお、今後資金が必要となった場合には、研究責任者の責任において適切に対応いたします。 また、本研究の計画、実施および結果の公表にあたり、研究結果やその解釈に影響を及ぼす可能性のある利益相反は存在していません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 薬剤部 畠山成寛
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 薬剤部 （研究責任者・問い合わせ担当者）畠山 成寛 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-787-2867	